

iid Press

株主通信「イードプレス」

2016年6月期
(2015.7.1~2016.6.30)

通期報告書



第17期

We are the User Experience Company.



株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

インターネット黎明期時代2000年に設立したイードは、設立から15年、2015年3月24日東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株主の皆さま、読者の皆さま、サービス利用者の皆さま、お取引先の皆さま、全ての関係者の皆さま方から多大なご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

インターネット黎明期を体験した出版業界出身者とIT技術者たちが、インターネットメディアの無限の可能性にチャレンジするために集結し、イードの前身であるIRI-CTを設立した2000年は、携帯キャリアのコンテンツサービス加入数が1000万台を超え、ECサービスが急成長を始めた激動の時代の幕開けの年でした。イードは15年の激流と共に進化し、20ジャンル48メディア(2016年6月現在)を運営するコンテンツマーケティング企業へと成長いたしました。

これからの15年は、これまで歩んできた15年よりも遥かに速いスピードで、より大きな変化が起これと確信しております。イードは、新しいテクノロジーや多様化していくメディア価値に対して、スピーディーに事業を拡大できる組織を創り上げてまいります。

まもなく到来する世界インターネット人口50億人時代を見据え、人工知能(AI)技術の活用、仮想現実(VR)事業など、急速に拡大していくビジネスチャンスを見逃さず積極的に参入し、私たちの掲げる企業理念「すべての人に最高のユーザーエクスペリエンスを - We are the User Experience Company.」の実現のために挑戦を続けます。

読者の皆さまにより良いコンテンツを提供し、メディア価値を高めていく、コンテンツマーケティング企業であると同時に、社会に信頼していただける企業であることを目指してまいります。今後とも引き続きご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



株式会社 イード代表取締役 宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集 1	5
イードの事業概況	2	特集 2	7
2016年6月期通期業績ハイライト	3	会社概要・株主の概況	9

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2016年6月期通期 業績ハイライト

- ・売上高年平均成長率18.9%となり高成長率を維持しています。
- ・M&Aによる新規取得事業の高成長が収益に大きく貢献しています。

通期業績ハイライト (百万円)

連結 売上高は過去最高を更新。高成長を維持。

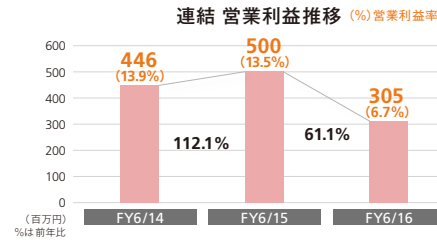
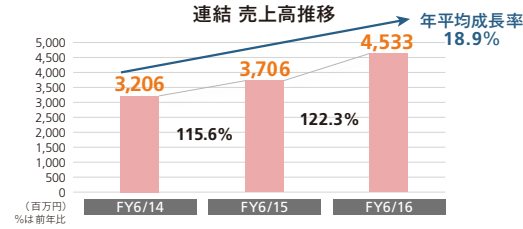
	FY6/16	FY6/15	前期比
売上高	4,533	3,706	122.3%
営業利益	305	500	61.1%
営業利益率	6.7%	13.5%	-6.8pt

CMP 売上高は過去最高を更新。営業利益は減少。

	FY6/16	FY6/15	前期比
売上高	3,721	2,912	127.8%
営業利益	285	479	59.5%
営業利益率	7.7%	16.5%	-8.8pt

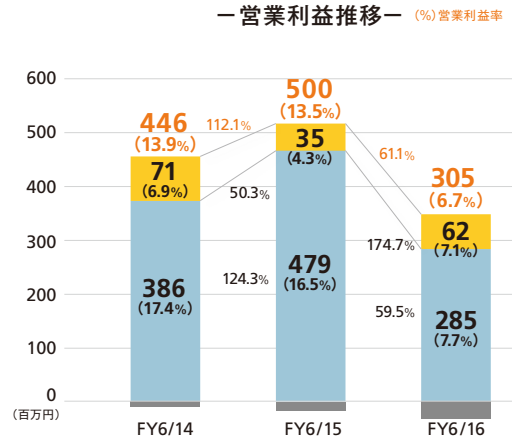
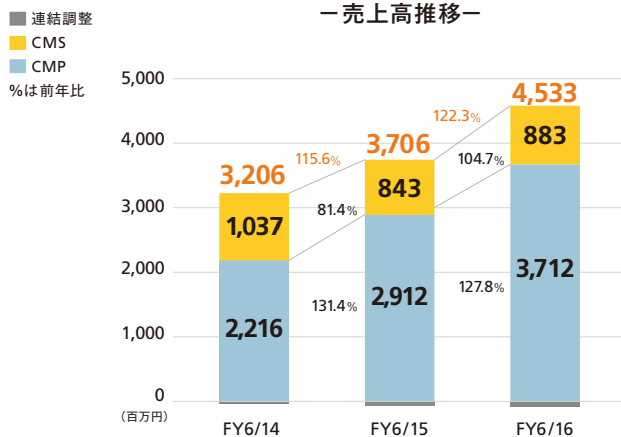
CMS 営業利益、営業利益率共に増加。

	FY6/16	FY6/15	前期比
売上高	883	843	104.7%
営業利益	62	35	174.7%
営業利益率	7.1%	4.3%	2.8pt



2016年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業の売上高は堅調に推移し、年平均成長率29.6%となりました。
- ・CMP事業の営業利益は前期の479百万円から40.5%減少し285百万円となり、営業利益率は8.8pt減少し7.7%となりました。



2016年6月期通期 通期計画達成状況

- ・通期計画を達成し売上高101.4%、営業利益102.0%となりました。売上高、営業利益、経常利益において計画達成いたしました。
- ・「パズル雑誌」の減損28百万円により、当期利益が計画を下回る結果となりました。

売上高については4,469百万円の予想に対して4,533百万円となり達成率101.4%と1.4%ではありますが上回ることができました。また営業利益も300百万円の予想に対して305百万円となり達成率102.0%と2%上回っております。売上高、営業利益ともにM&Aによる新規取得した事業が大きく貢献しております。

当期利益については194百万円の予想に対して143百万円となり達成率は74.0%となりました。2014年4月にM&Aにて取得した「パズル雑誌事業」が2015年6月期(前期)については黒字計上でしたが、当期は雑誌の返品率の増加により赤字計上となり、28百万円の減損を行った事が主な要因となります。

	FY6/16			FY6/15	
	実績	業績予想	達成率	実績	前期比
売上高	4,533	4,469	101.4%	3,706	122.3%
営業利益	305	300	102.0%	500	61.1%
経常利益	298	293	101.5%	505	59.0%
当期利益	143	194	74.0%	321	44.7%

※当期利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(百万円)

2016年6月期通期 貸借対照表

- ・前期末より、純資産は170百万円増加し3,045百万円となりました。

当連結会計年度末における総資産は4,232百万円(2015年6月期(前期)比111百万円増)となりました。これは主に、流動資産に含まれる商品及び製品が53百万円、固定資産に含まれるのれんが31百万円、投資有価証券が29百万円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における負債総額は1,187百万円(2015年6月期(前期)比59百万円減)となりました。これは主に、流動負債に含まれる未払法人税等が44百万円減少したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は3,045百万円(2015年6月期(前期)比170百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金が143百万円増加したこと等によるものであります。

	FY6/16 期末	FY6/15 期末	前期比 増減額	前期末比
流動資産	3,037	3,003	34	101.1%
現金及び預金	1,846	1,848	▲2	99.9%
固定資産	1,195	1,117	77	106.9%
のれん	523	491	31	106.4%
資産合計	4,232	4,121	111	102.7%
流動負債	1,046	1,095	▲49	95.5%
固定負債	141	151	▲9	93.5%
負債合計	1,187	1,246	▲59	95.3%
株主資本	3,015	2,850	164	105.8%
利益剰余金	1,264	1,121	143	112.8%
純資産	3,045	2,874	170	105.9%
負債・純資産	4,232	4,121	111	102.7%

(百万円)

AI（人工知能）とVR（ヴァーチャリアリティ）市場に向けて 新プロジェクト始動

AI技術活用の「ドライブログ機能」を新追加 Ver4.0に進化した『e燃費』アプリを配信開始

<http://e-nenpi.com/info/lp/>

65万人のユーザー投稿データから実燃費と移動実態の相関を解析

『e燃費』は、2000年春にサービスをスタートし、累計会員数65万人を突破している日本最大級の燃費管理サービスです。登録ユーザーから寄せられる毎月数万回の給油データから、車種別実用燃費データ「e燃費ランキング」や「リアルタイムガソリン価格」など、“楽しく節約、楽しくエコロジー”できる情報を提供しています。燃費データ：累計 約1,300万件、ガソリンスタンドデータベース：全国3万3,560件、EV充電スタンドデータベース：全国1万3,037件、水素ステーション：総計45件、登録車種数：累計 約9,800種（2016年7月現在）を備えており、多くのユーザーに長年ご利用いただいております。おかげさまで16年目を迎えた本年、アプリの大幅バージョンアップを実施いたしました。

AI技術を活用した「ドライブログ機能」(※1)を新追加

今回のアプリのバージョンアップでは、AI技術を活用した「ドライブログ機能」を新しく追加し、精度の高い移動情報の取得が可能になりました。また、使いやすくなりやすいデザインを追求しUIを一新。さらに、アプリによるスマートフォンのバッテリー消費も抑えたことにより、「賢い機能」「優美なデザイン」「エコノミー（節約）×エコロジー（環境）」を兼ね備えたサービスに進化いたしました。

「ドライブログ機能」は、トリップ（移動開始から終了まで）毎の、移動手段（自動車、徒歩、バス、電車など）を自動判別（※2）し、ルート・時間・距離・速度を自動記録します。タイムラインからお出かけの記録を振り返り、ドライブ旅行のルートや思い出の記録、燃費が良くなる走行ルートの発見や、移動手段の見直しなどに活用することが可能です。今後もエコカーライフを追求し、さまざまなコンテンツ拡充を図ってまいります。

※1：アプリ版のみの追加の運転自動記録機能です。

※2：アプリインストール後の初期段階では、ユーザーによる手動での「乗り物スタンプ」（マイカー、電車、徒歩、などの移動手段を示すスタンプ）の入力が必要です。「乗り物スタンプ」を手動入力すればすばい、AI技術の「ディープラーニング」等により、移動手段を自動判別できるように学習していきます。

B to B向けデータ分析レポートの販売も行っています

『e燃費』では過去15年間に渡って蓄積されてきた自動車の実用燃費データや各種調査レポートを、自動車メーカー・自動車関連企業・研究機関・大学などに提供を行ってきました。今後は『e燃費Ver4.0』で得られた自動車の利用実態・移動ビッグデータとも組み合わせて提供を行っていくだけでなく、ディープラーニングをはじめとしたAI技術や解析ノウハウを体系化し、B to B向けにサービス展開を行っていく予定です。

ユーザーからの取捨データ、分析レポートの販売先事例：

国内大手自動車メーカー8社／海外自動車メーカー1社／国立環境研究所／産業総合技術研究所／交通安全環境研究所／省エネルギーセンター／自動車工業会（自工会）／神戸大学／タフツ大学 他大学機関／日本郵政／JSR など



レイ・フロンティアと資本業務提携。AI技術を活用した自動車 ビッグデータ解析サービス『モビリティ・フロンティア』を共同開発

MOBILITY
FRONTIER

2016年3月に業務提携いたしましたレイ・フロンティア株式会社と8月に資本業務提携を締結いたしました。優れたAI技術で注目のレイ・フロンティア社との協業でAI技術を使った自動車ビッグデータ解析サービスを展開してまいります。

『モビリティ・フロンティア』では自動車を中心としたモビリティ関連の移動ビッグデータを、ディープラーニングをはじめとするAI技術で付加価値を加え、リアルタイムにアウトプットする体系化したソリューションを提供することで、自動車分野をはじめとするモビリティ分野全般の発展に寄与してまいります。

ビッグデータテクノロジー／サービスの市場規模は2019年に世界で1870億ドルにのぼると予測（※1）されており、今後はIoT（※2）やAIといった新たなビッグデータ活用によるデータ駆動型経済（※3）が進展していくと予測されています。IoT関連技術の実用化が進むことで、AIの産業適用が更なる拡大をみせ、ビッグデータ市場が大きな成長をみせるという調査結果（※4）も発表されています。

イードでは本提携を皮切りに、自動車分野を中心としたビッグデータテクノロジー／サービス領域でナンバーワンを目指し、様々な事業でのAI技術活用の促進を検討して参ります。

※1 出典：IDC「Worldwide Semiannual Big Data and Analytics Spending Guide」（2016年5月）

※2 Internet of Things：モノのインターネット

※3 IoTによるモノのデジタル化・ネットワーク化があらゆる産業社会に適応され、デジタル化されたデータが、インテリジェンスへと変換されて現実世界に適応されることで新たな付加価値を生み、それが現実世界を動かすようになる経済のこと【出典：経済産業省 産業構造審議会「中間取りまとめ（案）」（2015年4月）

※4 出典：矢野経済研究所「ビッグデータ市場に関する調査結果 2016」（2016年3月）



これから自動車業界は変革の時代を迎え、自動車の利用価値やユーザー体験も大きく変わることが予想されます。そのような大きな変化のチャンスに「モビリティ・フロンティア」から乗り物×ビッグデータ×AIによって世の中に新しい価値を提供してまいります。

e 燃費／モビリティ・フロンティア担当：石原 正義

VR技術を活用したメディアビジネスを積極展開 VR映像プラットフォームも立ち上げ

<http://einy.me/>

2016年は「VR元年」と呼ばれ、VR関連のソフトウェア市場は2025年には350億ドル規模に成長すると予測（※1）されています。イードではVRに関するサービスの第一弾として、株式会社シータと業務提携を行い、アイドルの実写映像に特化した高品質なVR映像配信プラットフォーム「EINYME（エイニーミー）」を公開いたしました。

シータのVR映像撮影・コンテンツ技術力と、イードのコンテンツマーケティング事業ノウハウを組み合わせ、VR映像を活用したメディアビジネスやプロモーション企画を共同で展開するとともに、さらに高品質なVR映像制作の共同研究にも取り組んでまいります。

※1 2016年1月 Goldman Sachs Global Investment Research 調べ



PCやスマホの次の情報提供手段としてVRは大きな可能性を秘めていると感じています。ファン向けのアイドル映像のみならず既存のメディア事業を拡大する鍵としてVRを活かし、イードと業務提携をしたシータ社と共同でVR映像ビジネスを推進してまいります。

VR事業担当：土本 学



©2016 Theta Corp.

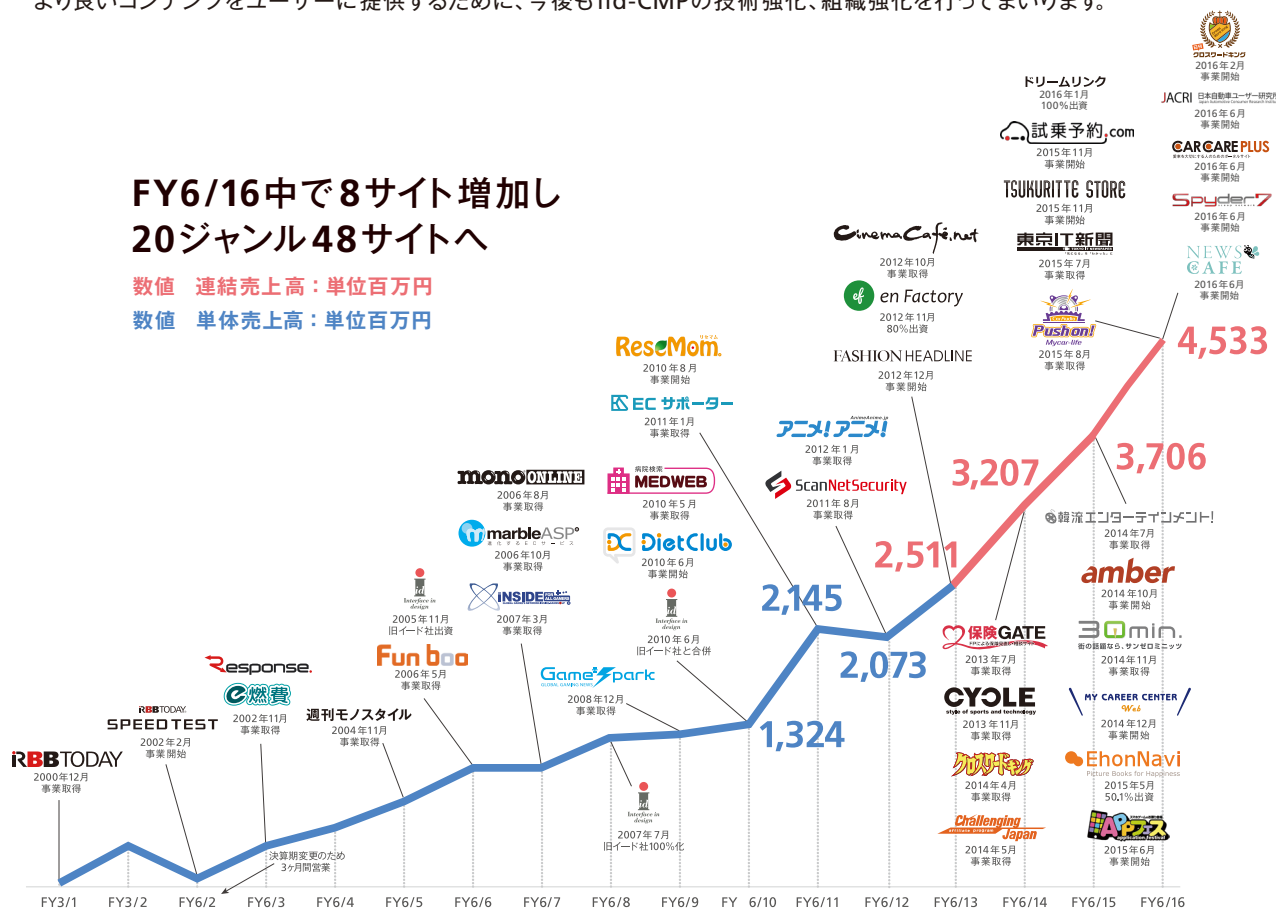
M&Aの歴史と リード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム

イードの歴史と共に進化し、多種多様なメディアのコンテンツ強化、トラフィックの最適化を追求し続けてきたイードメディアの共通プラットフォームイード・コンテンツ・マーケティング・プラットフォーム(iid-CMP)。イードの20ジャンル48メディア(2016年6月現在)と、パートナー企業様のオウンドメディアの価値を最大化し、より良いコンテンツをユーザーに提供するために、今後もiid-CMPの技術強化、組織強化を行ってまいります。

**FY6/16中で8サイト増加し
20ジャンル48サイトへ**

数値 連結売上高：単位百万円

数值 単体売上高：単位百万円



iid-CMP

プライベートDMP導入でトラフィックをより最適化

ニュース提供先

ブックマーク

サーチ

SNS

iid ウィジェット

豊富なライター陣によるオリジナル記事力・囲い込み・リピーター化



Cynergi
platform

イードのプライベートアドネットワーク
「シナジ・プラットフォーム」



記事を読み終え次の
コンテンツを読みたい
読者に、自然な形で
コンテンツを紹介。

記事直下のレコメン
ドエリアから、クライ
アント企業のコンテ
ンツとイード読者を
マッチングします。

playtoys. mine

100を超える人気キャラクターの
公式ライセンス商品を、デジタルコンテンツと
物販の両方で展開しております。



EhonNavi

Picture Books for Happiness

1000万人の絵本ためしよみサイト
絵本に出会い、おためしで読んでから買える



絵本のためしよみ、絵本・児童書情報の提供の他、絵本やグッズの販売も行っている絵本の総合メディアです。2月よりNTTドコモ「スゴ得コンテンツ」※1,2に提供を開始した「絵本ナビプレミアム for スゴ得」は好評いただいたしており、絵本ムービー作品数が50を突破、読み放題作品数も100を突破いたしました。

※1「スゴ得コンテンツ」は株式会社 NTT
ドコモが提供する、幅広いジャンルのコン
テンツやアプリ、およびお得なクーポンが
月額380円(税抜)で使い放題になるサービス
です。初回お申込から月額使用料が31日間
無料でご利用頂けます。

※2「スゴ得コンテンツ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

クロスワード



クロスワードキング

25年の歴史を誇る老舗パズル雑誌から パズル問題のデジタル化を推進

高品質なパズル問題を、毎日楽しめるアプリ
「日刊クロスワードキング」をiOSとAndroidで
配信しております。





会社概要

会社名 株式会社イード (IID, Inc.)
設立 2000年4月28日
所在地 〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金 854,379千円
事業内容 メディア事業
リサーチ事業
メディアコマース事業
従業員数 単体150名／連結213名
子会社 Interface in Design, Inc.
株式会社エンファクトリー
株式会社泰文堂
株式会社絵本ナビ

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 工木 大造
取締役 須田 亨
取締役○ 白井 俊徳 (株式会社三越伊勢丹ホールディングス 常務執行役員)
取締役○ 今川 聖 (エキサイト株式会社 代表取締役社長)
取締役○ 大和田 廣樹 (株式会社ブロードバンドタワー 取締役)
取締役○ 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)
監査役 山中 純雄 (常勤監査役)
監査役○ 岡田 智雄 (元ニフティ株式会社 代表取締役社長)
監査役○ 安達 美雄 (元株式会社大塚商会執行役員)

○=社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 4,925,400株
株主数 1,888名

■大株主の順位※

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.35%
2	株式会社三越伊勢丹イノベーションズ	653,100	13.25%
3	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.51%
4	株式会社マイナビ	400,000	8.12%
5	インスパイア・テクノロジー・イノベーション・ファンド 投資事業有限責任組合 無限責任組合 株式会社インスパイア・インベストメント	323,800	6.57%
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	213,500	4.33%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合 無限責任組合 株式会社電通デジタル・ホールディングス	200,000	4.06%
8	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	143,300	2.90%
9	宮川 洋	122,000	2.47%
9	工木 大造	122,000	2.47%

株式についてのご案内(株主メモ)

上場市場 東京証券取引所マザーズ
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL: <http://www.iid.co.jp/company/koukoku>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

iid Press

株主通信「イードプレス」

2016年6月期 通期報告書

(2015.7.1～2016.6.30)



株式会社 イード

(証券コード 6038)

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

第17期